

■米国：FERC、ベースロード電源に関する DOE のルール策定指示を却下

2018年1月8日付の連邦エネルギー規制委員会(FERC)のプレスリリースによると、FERCは、2017年9月にエネルギー省から指示された、ベースロード電源(原子力、石炭火力)の価値を市場で正当に評価するための市場ルール策定の検討を中止した。一方、電力系統の事故時回復力(レジリエンシー)の重要性を認識する FERC は、同日、大規模電力系統のレジリエンシーを全般的に評価するための新たな作業を開始することを決定し、各卸電力市場運用者に関連する情報の提供を指示した。作業の目標は、レジリエンシーとは何を意味するのかについて関係者が共通の理解をし、各系統運用者がそれぞれの系統の特徴に応じてどのようにレジリエンシーを評価すべきかを理解し、各卸市場運用者から提供される情報を基に、電力系統のレジリエンシー向上のために FERC が何らかの行動を起こすべきかどうかを評価することにある。情報の提供期限は 60 日以内とされている。